

令和4年6月美馬市議会定例会議事日程（第1号）

令和4年6月14日（火）午前10時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 会期の決定について
- 日程第 3 議案第37号 美馬市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する
条例の一部改正について
議案第38号 美馬市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例
の一部改正について
議案第40号 令和4年度美馬市一般会計補正予算（第4号）
議案第41号 令和4年度美馬市小水力発電事業特別会計補正予算（第1号）
議案第42号 令和4年度美馬市水道事業会計補正予算（第1号）
議案第43号 徳島県市町村総合事務組合規約の変更について
議案第44号 物品購入契約の締結について
議案第45号 物品購入契約の締結について
- 日程第 4 議案第39号 令和4年度美馬市一般会計補正予算（第3号）
- 日程第 5 承認第 8号 専決処分の承認を求めることについて（令和4年度美馬市
一般会計補正予算（第2号））
- 日程第 6 報告第 1号 令和3年度美馬市繰越明許費繰越計算書
報告第 2号 令和3年度美馬市下水道事業会計予算繰越計算書

令和4年6月美馬市議会定例会会議録（第1号）

◎ 招集年月日 令和4年6月14日

◎ 招集場所 美馬市議会議場

◎ 開 会 午前10時00分

◎ 出席議員

1番	藤原 昌樹	2番	敷島 敏宏	3番	田中みさき
4番	立道 美孝	5番	藤野 克彦	6番	都築 正文
7番	田中 義美	8番	中川 重文	9番	林 茂
10番	武田 喜善	11番	郷司千亜紀	12番	井川 英秋
13番	西村 昌義	14番	久保田哲生	15番	片岡 栄一
16番	川西 仁	17番	谷 明美	18番	前田 良平

◎ 欠席議員

なし

◎ 地方自治法第121条の規定により説明のために出席した者の職氏名

市長	藤田 元治
副市長	加美 一成
副市長	長江 哲
企画総務部長	吉田 正孝
保険福祉部長	住友 礼子
市民環境部長	伊内 公一
経済部長	藤田 伸次
建設部長	河野 功
美来創生局長	篠原 孝志
水道部長	西野 佳久
消防長	根本 賢一
会計管理者	高尾 寿美
企画総務部秘書人事課長	渡邊 晴樹
企画総務部企画財政課長	佐藤 優行
代表監査委員	喜多 輝光
教育長	村岡 直美
副教育長	園木 一昌

◎ 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	藤本 卓志
議会事務局長次長	大島 康作
議会事務局長次長補佐	宮内 聡美

◎ 議事日程

議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。

◎ 会議録署名議員の氏名

議長は会議録署名議員に次の3名を指名した。

4番	立道 美孝	議員
5番	藤野 克彦	議員
6番	都築 正文	議員

開会 午前10時00分

◎議長（郷司千亜紀議員）

おはようございます。会議に入ります前にお知らせをいたします。

6月議会におきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、本会議出席者はマスクの着用を許可しております。発言台につきましては、アクリル板を設置しておりますので、マスクを外しての発言を許可いたします。また、議長席におきましても同様とさせていただきますので、ご理解をよろしくお願いいたします。更に、密室における長時間の会議を避けるため、小休ごとに議場から退室をしていただき、議場への再入場の際には消毒液で手指の消毒をしていただきますよう、皆様のご理解、ご協力の程をよろしくお願いいたします。

ただいまの出席議員は18名であります。定足数に達しておりますので、これより令和4年6月美馬市議会定例会を開会いたします。

なお、藤田市長からのご挨拶につきましては、提案理由の説明の際に併せてお願いをすることにいたします。

ただいまから本日の会議を開きます。

日程に入る前に先立ち、諸般の報告をいたします。

議長諸般の報告といたしまして、主なものについて報告いたします。

まず、5月16日、小松島市の正副議長が来庁され、意見交換をいたしました。

次に、5月18日、吉野川市、阿波市、つるぎ町を前田副議長と共に訪問し、意見交換をいたしました。

次に、5月20日、徳島市、鳴門市、阿南市を前田副議長と共に訪問し、意見交換をいたしました。

次に、5月23日、三好市の正副議長が来庁され、意見交換をいたしました。

次に、5月25日、全国市議会議長会第98回定期総会が東京国際フォーラムで開催され、出席をいたしました。なお、全国市議会議長会監事に就任をいたしました。

次に、6月3日、美馬市戦没者追悼式が穴吹農村環境改善センターで開催され、前田副議長、福祉文教常任委員会 立道委員長、敷島副委員長と共に出席をいたしました。

次に、6月8日、高松市を前田副議長、国道193号整備促進特別委員会 井川委員長と共に訪問し、意見交換をいたしました。なお、大西市長とも意見交換をいたしました。

次に、監査委員から令和4年1月分から4月分の例月出納検査についての報告が提出されております。

なお、ただいま報告をいたしましたそれぞれの関係資料につきましては、事務局に保管をしておりますので、必要に応じてごらんいただきたいと思います。

以上で諸般の報告を終わります。

これより、本日の日程に入ります。

本日の議事日程は、ご配付の日程表のとおりであります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、4番 立道美孝君、5番 藤野克彦君、6番 都築正文君を指名いたします。

日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は6月7日の議会運営委員会の決定のとおり、本日から7月5日までの22日間といたしたいと思っております。

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい。異議なしと認め、本定例会の会期は本日から7月5日までの22日間とすることに決定いたしました。

なお、会期中の会議日程につきましては、ご配付のとおりといたしたいと思っておりますので、よろしくお祈りをいたします。

次に、日程第3、議案第37号、美馬市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について、議案第38号、美馬市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について及び議案第40号、令和4年度美馬市一般会計補正予算（第4号）から議案第45号、物品購入契約の締結についてまでの8件を一括し、議題といたします。

議案の朗読を省略し、提案理由の説明を求めます。

◎市長（藤田元治君）

議長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、藤田市長。

[市長 藤田元治君 登壇]

◎市長（藤田元治君）

皆さん、おはようございます。

本日、令和4年6月美馬市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましてはご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃は市勢発展のため、ご理解とご協力を賜っておりますことにつきましても、厚くお礼を申し上げる次第であります。

初めに、ウクライナ情勢についてであります。

ロシアのウクライナに対する軍事侵攻により、子どもたちを始め、罪のない多くのかけがえのない命が失われ、今もなお、多くの人々が危険にさらされております。犠牲となられた全ての方々に心から哀悼の意を表すとともに、一日も早い平和的、人道的な解決を願うものであります。

次に、令和3年10月に執行されました衆議院議員総選挙における執行委託費が職員の不適正な事務処理により、本来、交付されるべき額より少ない額で交付されるという事案が発生をし、当該職員及びその上司の事務局長に対し、減給10分の1、1か月の懲戒処分を行いました。こうした事案の発生につきましては、市政を預かるトップといたしまして、議員各位を始め、市民の皆様方に深くおわびを申し上げます。また、本定例会に本年7月から9月までの3か月について、私と副市長の給料月額について、既に実施をしている5%の減額措置に10%を上乗せし、合わせて15%を減額するための関係条例を提案

させていただきます。

今後、このような事態が二度と起こらないように、組織全体で適正な事務処理の意識を徹底し、再発防止に向け、職員一丸となって職務に精励することにより、市民の皆様方の信頼回復に取り組んでまいります。

次に、国の総合緊急対策に伴う本市の対応についてであります。

4月26日に国において決定をされましたコロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策を受け、本市においても物価高騰などの影響を受けた市民の皆様、事業者の皆様への支援策を講じてまいります。

このうち、低所得の子育て世帯を対象とした生活支援特別給付金や住民税非課税世帯などを対象とした臨時特別給付金の支給に係る関連予算につきましては、早急に着手をする必要がございましたので、5月16日に専決処分をさせていただきました。また、子育て世帯の生活を支援をするみまっこみらい応援給付金や農家・林家を含む事業者の事業継続を支援するための緊急支援金を新たに創設するとともに、学校給食の材料費や燃料費の増加分を市が負担する事業にも取り組むため、本定例会に一般会計補正予算（第3号）を提出させていただきます。この予算につきましては、現下の物価高騰の状況に鑑み、迅速に対応する必要がありますことから、本日、先議をお願いしたいと考えておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

次に、新型コロナウイルス感染症についてであります。

大型連休の後半以降に見られた感染者数の全国的な増加傾向は減少に転じている状況にありますが、オミクロン株BA.2より病原性や感染力が強いとされる変異株が国内でも検出をされるなど、新型コロナウイルスに対する警戒の手を緩めることはできません。市民の皆様には、熱中症予防に配慮した上で、適切なマスクの着用や換気、手洗い・手指消毒といった基本的な感染防止対策を徹底いただきますよう、お願いいたします。

こうした中、ワクチン接種の状況であります。本市におきましては、5月末時点で2回目の接種を完了している方は本市の全人口の81.9%に当たる2万2,554人となり、そのうち3回目の接種が完了している方は1万8,511人となっております。現在、2回目の接種から5か月が経過をした18歳以上の方を対象に順次、3回目の接種を案内させていただきますので、接種券がお手元に届きましたら、接種を検討いただきますようお願いいたします。

また、重症化予防を目的として行われる4回目の接種につきましても、対象となる60歳以上の方に接種券の発送を開始し、18歳以上60歳未満で基礎疾患をお持ちの方や重症化リスクが高いと医師に判断された方につきましては、接種券の発行申請を受け付けております。

今後とも、関係機関と連携をし、対象となる皆様が安心してワクチンを接種いただけるよう、引き続き、しっかりと取り組んでまいります。

さて、本定例会には、令和4年度一般会計補正予算などの議案を提案させていただきます。提案理由をご説明申し上げます前に、当面する市政の課題と主要施策についてご報告を申し上げ、議員各位を始め、市民の皆様方のご理解とご協力を賜りたいと存じ

ます。

最初に、「未来へつなげる！市民の誰もが思いを実現し、健康で活躍できるまちづくり」のうち、子育て支援についてであります。

本市では、令和2年に策定をいたしました第2期美馬市子ども子育て支援事業計画に基づき、子どもの健やかな育ちと保護者による子育てを社会全体で支援する環境整備を進めております。この一環として、穴吹認定こども園を市と民間事業者が連携をして運営を行う公私連携幼保連携型認定こども園へ移行したいと考えております。この公私連携による認定こども園の運営は、公立の認定こども園として培ってきた教育や保育の内容を継承した上で、民間ならではの創意工夫により、多様化するニーズに対応した質の高い教育・保育サービスの提供を目指すものであります。今後、保護者の皆様はもとより、議会に対しても十分な説明をさせていただき、ご理解をいただいた上で進めてまいりたいと考えております。

次に、美と健康のまちづくりプロジェクトについてであります。

4月24日、美しく健康で日々の生活を過ごしていただくために、地域交流センターミライズにおいて、大塚製薬株式会社との共催で「女性の健康サポートセミナー」を開催し、参加いただいた市民の皆様からは、大変ご好評をいただきました。美と健康のまちづくりに関する今後の取組といたしましては、7月16日に「美しく歳（とし）をとる」ことを意味する「美齡学（びれいがく）」をテーマにした講演会をミライズで、また翌17日には、高齢者の皆様を対象とした「美容体験会」を小星ベースで行う予定であります。また、7月24日は県の定める「とくしま藍の日」であります。本市では「ミマ インディゴ デイ」と名付け、うだつの町並みなどで藍文化に触れるイベントを開催をするほか、7月30日には、一般財団法人 日本総合研究所の寺島実郎会長による「人生100年時代 ジェロントロジー講演会」をミライズで開催する予定としております。心身ともに美しく、健康に暮らし、生涯にわたって活躍いただけるよう、多くの市民の皆様にご参加いただければと存じます。

次に、「元気な美馬！賑わいがあり『ひと』と『しごと』が好循環をするまちづくり」であります。

ロケツーリズムによる観光プロモーションプロジェクト推進事業につきましては、企業版ふるさと納税など、5月末時点で企業22社と個人お一人から当初の目標額を上回る合計6,905万円のご寄附を頂いております。

なお、事業の進捗でございますが、3月29日に、ドラマの企画運営会社である株式会社ニイムと一般社団法人美馬観光ビューロー、そして本市の3者による連携協定を締結し、4月26日には、美馬市ドラマ撮影支援委員会が立ち上がりました。また5月25日、26日の両日、本市を訪れたドラマ製作会社のロケハンにロケの候補地となる市内の観光スポットやドラマ撮影に使用するための市内の特産品の紹介をするなど、本年、秋に予定をしているドラマの撮影開始に向け、順調に準備が進んでいるところであります。

次に、「未来の暮らしを守る！安全・安心、快適な環境で便利に生活できるまちづくり」であります。

本市では、地域防災力向上の担い手となる人材を育成するため、市民の皆様や職員による防災士資格の取得を推進しておりますが、市内にお住まいの防災士の連携強化などを目的に4月30日、美馬市防災士連絡会を設立いたしました。現在の会員数は、市民64名、職員181名の計245名であり、今後は事業計画に基づき、研修の実施を始め、市や自主防災組織が実施をする訓練への参加などの活動を推進してまいります。

それでは、上程をいただきました議案の概要につきまして、ご説明をさせていただきます。

最初に、議案第37号、美馬市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正についてであります。

この案件は、先程説明をいたしましたとおり、本年7月分から9月分までの3か月間の私と副市長の給料月額を減額することについて、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第38号、美馬市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正についてであります。

この案件は、法令改正に伴い、項ずれなどが生じたため、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第40号、令和4年度美馬市一般会計補正予算（第4号）であります。

今回の補正予算は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,700万円を追加をし、補正後の歳入歳出予算の総額を200億1,100万円とするものであります。

補正予算の主なものについて説明をさせていただきます。

総務費につきましては、避難所に備蓄をするポータブルトイレや市役所敷地内に整備をいたしました屋外物資集積拠点のテントなどを購入するための経費として488万6,000円を計上しております。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、修学旅行が中止又は延期となった場合の旅行代金のキャンセル料を市が負担をするための経費として300万円を、デジタル地域通貨導入事業において、電子ポイントを付与する対象者を拡充するための経費として210万円をそれぞれ計上しております。

民生費につきましては、国の要綱改正などに伴う放課後児童クラブ運営費の追加経費として199万円を計上しております。また、児童1人当たり10万円を支給する子育て世帯等臨時特別給付事業について、令和3年度中に支給を受けていない対象者に給付金を支給するため、180万円を計上しております。

農林水産業費につきましては、県から交付内示を受け、県単治山事業の測量・設計委託料及び工事請負費、合わせて1,100万円を計上しております。

商工費につきましては、企業版ふるさと納税などを活用し、ロケツーリズムによる観光プロモーションプロジェクトの推進に必要な経費として4,000万円を計上しております。

土木費につきましては、国からの交付内示を受け、防災・安全社会資本整備交付金事業などの設計委託料と工事請負費を合わせて2,538万8,000円を減額する一方、県からの交付内示を受け、県単急傾斜地崩壊対策事業の工事請負費780万円を計上しております。

教育費につきましては、国からの交付内示を受け、理科教育等備品購入費を小・中学校合わせて418万9,000円を計上しております。

以上が一般会計補正予算の概要であります。

次に、議案第41号、令和4年度美馬市小水力発電事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、夏子ダム小水力発電設備を修繕するための経費であります。

次に、議案第42号、令和4年度美馬市水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、徳島自動車道鍋倉谷川橋の橋脚耐震補強工事施工に伴う配水管仮設工事の事業費などあります。

次に、議案第43号、徳島県市町村総合事務組合規約の変更についてであります。

この案件は、板野西部青少年補導センター組合が令和4年3月31日をもって解散したことに伴い、徳島県市町村総合事務組合規約を変更するものであります。

次に、議案第44号、物品購入契約の締結についてであります。

この案件は、令和4年度地域情報ネットワークシステム更新事業に係る光ファイバー機器OLTなどを購入することについて議会の議決をお願いするものであります。去る6月9日に指名競争入札を執行し、現在、仮契約を締結をしており、契約の金額は4,617万8,000円で、契約の相手は三笠電機株式会社本店 本店長 福井基喜氏であります。

次に、議案第45号、物品購入契約の締結についてであります。

この案件は、令和4年度職員用ノートパソコン更新事業に係るノートパソコンの購入について議会の議決をお願いするものであります。去る6月9日に指名競争入札を執行し、現在、仮契約を締結をしており、契約の金額は2,387万円で、契約の相手は株式会社南海MJE協町営業所 取締役 山下信夫氏であります。

このほか、本定例会には、後程説明をさせていただきます専決処分の承認案件が1件、予算案件1件、報告案件2件の合わせて12件を提案させていただいております。このうち議案第39号、令和4年度美馬市一般会計補正予算（第3号）につきましては、本日、先議をお願いしたいと存じますので、よろしくお取り計らいをお願いいたします。

ご審議を賜り、原案のとおりご可決及びご同意をくださいますようお願いを申し上げます。私からの挨拶及び提案理由の説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いをいたします。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、ありがとうございます。

以上で提案理由の説明が終わりました。

次に、日程第4、議案第39号、令和4年度美馬市一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

議案の朗読を省略し、提案理由の説明を求めます。

◎企画総務部長（吉田正孝君）

議長、企画総務部長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、吉田企画総務部長。

◎企画総務部長（吉田正孝君）

それでは、本日、先議をお願いいたします補正予算案につきましてご説明申し上げます。議案第39号、令和4年度美馬市一般会計補正予算（第3号）でございます。

43ページをお願いいたします。

令和4年度美馬市一般会計補正予算（第3号）は、第1条のとおり、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億7,000万円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ199億5,400万円とするものでございます。これは、4月26日に国において決定されましたコロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策を受け、本市へ配分されます地方創生臨時交付金を活用し、市独自の緊急対策に取り組むものでございます。

45ページをお願いいたします。このページと次の46ページの第1表歳入歳出予算補正におきましては、歳入歳出の補正額を款項ごとに区分し、掲載してございます。

それでは、歳出補正予算の内容につきましてご説明申し上げます。

50ページをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費に1億7,000万円を追加しております。財源内訳の国県支出金1億5,196万円につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金でございます。原油価格・物価高騰等総合緊急対策に伴う同交付金の増額分などを活用しております。

まず、原油価格・物価高騰対策緊急支援金といたしまして、18節負担金補助及び交付金に1億2,700万円を計上しておりますが、これは燃料や原材料等の調達コスト上昇の影響を受けた市内の事業者や農家・林家を支援し、事業の継続と市内経済の回復につなげるため、上限30万円の緊急支援金を創設するものでございます。なお、支援金支給に伴う事務費といたしまして40万円を計上しております。また、同じく18節にみまっこみらい給付金として7,700万円を計上しております。この給付金は物価高騰の影響を大きく受ける子育て世帯の生活を支援するため、子ども1人当たり2万円を給付するものでございまして、事務費につきましては320万円を計上しております。更に、給食材料費等高騰対策補助金500万円につきましては、コロナ禍において給食材料費や燃料費の高騰が続く中、保護者負担を増やすことなく、これまでどおりの栄養バランスや量を保った安全・安心な学校給食を提供するため、給食材料費及び燃料費の増加分を市が負担するものでございます。

なお、がんばる農家応援事業補助金につきましては、不用が見込まれる4,250万円を減額しております。

歳出補正予算につきましては、以上でございます。

次に、歳入補正予算でございますが、前にお戻りをいただき、49ページをお願いいたします。

上段の国庫補助金につきましては、先程ご説明申し上げました新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金でございます。

中段の前年度純剰余繰越金につきましては、今回の補正予算に伴う一般財源に対応するものでございまして、1,804万円を計上しております。

以上で、議案第39号、令和4年度美馬市一般会計補正予算（第3号）の説明とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、ありがとうございます。

以上で、提案理由の説明が終わりました。

ただいま議題となっております議案第39号、令和4年度美馬市一般会計補正予算（第3号）については、提案理由の説明にありましたように先議いたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、異議なしと認めます。よって、議案第39号については先議することに決しました。

これより質疑に入ります。

ただいまのところ質疑の通告がありませんので、質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第39号については、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、異議なしと認めます。よって、議案第39号については、委員会付託を省略することに決しました。

これより、討論に入ります。

ただいまのところ討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

お諮りいたします。議案第39号について、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、異議なしと認めます。よって、議案第39号については、原案のとおり可決されました。

次に、日程第5、承認第8号、専決処分の承認を求めることについて（令和4年度美馬市一般会計補正予算（第2号））を議題といたします。

議案の朗読を省略し、提案理由の説明を求めます。

◎企画総務部長（吉田正孝君）

議長、企画総務部長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、吉田企画総務部長。

[企画総務部長 吉田正孝君 登壇]

◎企画総務部長（吉田正孝君）

それでは、承認第8号につきましてご説明申し上げます。

23ページをお願いいたします。

承認第8号は、令和4年度美馬市一般会計補正予算（第2号）を地方自治法第179条第1項の規定により、去る5月16日に専決処分いたしましたので、同条第3項の規定により報告をし、承認を求めるものでございます。

25ページをお願いいたします。

一般会計補正予算（第2号）は、第1条歳入歳出予算の補正のとおり、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4,700万円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ197億8,400万円としたものでございます。

27ページ及び28ページの第1表歳入歳出予算補正につきましては、歳入歳出の補正額を款項ごとに区分し、掲載したものでございます。

それでは、まず、歳出補正予算の内容につきましてご説明申し上げます。

32ページをお願いいたします。

上段の社会福祉総務費では7,407万円を追加しておりますが、住民税非課税世帯や家計が急変した世帯などで令和3年度中に給付金を受給できていない世帯を対象に、住民税の非課税世帯等に対し、1世帯当たり10万円の臨時特別給付金を給付するための経費でございます。

次の子育て世帯生活支援特別給付金事業費につきましては、新型コロナの影響が長期化する中で、食費等の物価高騰などに直面する低所得の子育て世帯に対し、児童1人当たり5万円の特別給付金を給付するための経費でございまして、3,279万2,000円を計上しております。

続いて、33ページをお願いいたします。

新型コロナウイルスワクチン接種事業費には4,013万8,000円を追加計上しております。これは、国が示しました方針に基づき、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種から5か月が経過した方のうち接種を希望する60歳以上の方及び18歳から59歳までの方で基礎疾患を有する方などを対象に新型コロナウイルスワクチンの4回目接種を実施するための経費でございます。

なお、これら三つの事業の財源は全額国庫支出金でございまして、その内訳につきましては31ページに記載のとおりでございます。

以上で、専決処分をいたしました令和4年度美馬市一般会計補正予算（第2号）の説明とさせていただきます。ご承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、ありがとうございます。

以上で、提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

ただいまのところ質疑の通告がありませんので、質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております承認第8号については、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思っております。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、異議なしと認めます。よって、承認第8号については、委員会付託を省略することに決しました。

これより、討論に入ります。

ただいまのところ討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより、採決いたします。

お諮りいたします。承認第8号については、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、異議なしと認めます。よって、承認第8号については、原案のとおり承認されました。

次に、日程第6、報告第1号、令和3年度美馬市繰越明許費繰越計算書及び報告第2号、令和3年度美馬市下水道事業会計予算繰越計算書の2件についての報告を求めます。

◎企画総務部長（吉田正孝君）

議長、企画総務部長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、吉田企画総務部長。

[企画総務部長 吉田正孝君 登壇]

◎企画総務部長（吉田正孝君）

それでは、報告第1号、令和3年度美馬市繰越明許費繰越計算書につきましてご説明を申し上げます。

議案書の10ページから12ページをお願いいたします。

この案件は、令和3年度の美馬市一般会計予算におきまして繰越明許費をお認めいただきました27事業のうち22事業につきまして、令和4年度への繰越額が確定いたしましたので、地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき、報告を申し上げます。

令和4年度へ繰越いたしました合計額は4億1,362万3,000円ございまして、その財源につきましては既収入特定財源が5,105万円、未収入特定財源のうち国県支出金が1億3,840万1,000円、地方債が1億9,610万円、差引き一般財源が2,

807万2,000円となっております、これら事業に係る5月末時点の執行率につきましては全体で50.7%となっております。

また、繰越しの理由につきましては、関係機関や地元関係者との協議に日数を要したこと、また補正予算に計上した事業につきまして、工期や履行期間の確保が困難であったことなどがございます。今後、事業の早期完了に向けて、鋭意努力してまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

◎市民環境部長（伊内公一君）

議長、市民環境部長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、伊内市民環境部長。

[市民環境部長 伊内公一君 登壇]

◎市民環境部長（伊内公一君）

続きまして、私からは、報告第2号、令和3年度美馬市下水道事業会計予算繰越計算書についてご説明申し上げます。

議案書13ページをお願いいたします。

この案件は、農業集落排水処理施設、知野・宮内統合管渠整備工事に係るもので、繰越額といたしまして8,572万8,000円となっております。財源につきましては国庫補助金3,840万5,000円、企業債4,350万円、一般財源382万3,000円となっております、この事業に係る5月末時点の進捗率につきましては70%となっております。また、繰越しの理由につきましては、関係機関との協議や調整に不測の時間を要したことによるものがございます。今後、事業完了に向けまして、尽力してまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、ありがとうございます。

以上で、報告が終わりました。

次に、休会についてお諮りいたします。会期中の会議日程についてはご配付のとおりですが、明日6月15日から6月21日までの7日間は、議案精査及び市の休日のため休会といたしたいと思っております。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、異議なしと認めます。

明日6月15日から6月21日までの7日間は休会とすることに決しました。

以上で本日の議事日程は全て終了いたしました。

なお、次会は6月22日午前10時から再開し、代表質問及び一般質問を行います。

ここで、藤田市長よりご報告があります。

◎市長（藤田元治君）

議長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、市長。

[市長 藤田元治君 登壇]

◎市長（藤田元治君）

私から報告をさせていただきます。

今月1日付で長江副市長から一身上の都合により、今月21日をもって退職をしたいという旨の申出がございました。今日まで2年間、私の補佐役として本市の発展のため、ご尽力をされてきたところであり、慰留をいたしました。体力的な事情もあり、本人の意思を尊重することといたしました。長江副市長は総務省職員としての豊富な経験によって、特に国とのパイプ役として私をしっかりとサポートしていただき、誠心誠意取り組んでいただきましたことに心から感謝を申し上げる次第であります。今後はくれぐれも健康には十分ご留意をされて、ますますのご活躍をご祈念申し上げまして、お礼の言葉といたします。

以上で、私からの報告は終わります。

◎議長（郷司千亜紀議員）

長江副市長より挨拶の申出がありますので、これを許可いたします。

◎副市長（長江 哲君）

議長、副市長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、長江副市長。

[副市長 長江 哲君 登壇]

◎副市長（長江 哲君）

貴重なお時間をいただきまして、大変ありがとうございます。一言ご挨拶をさせていただきます。

私こと、このたび一身上の都合によりまして、副市長を退任をさせていただくこととなりました。年齢的なこと、あるいは体力的なことなどによるものでありますが、任期半ばでの辞任ということで、関係の皆様方に多大のご迷惑をおかけすることになりましたことを心からおわびを申し上げます。2年という短い限られた期間でございましたが、市議会議員の皆様、職員の皆様を始め、市民の皆様には本当にお世話になりました。折しもコロナ禍と時期が重なる勤務となりまして、行事・イベントの中止など制約はありましたが、一方ではワクチン接種など感染症対策や市民の皆様や事業者の方々への支援など、市役所を挙げた取組に関わらせていただきました。長年、地方行政に携わってまいりました私にとりまして、地方自治の原点、住民の皆様との距離が近い市町村で、しかも生まれ育ったこの美馬市で公務員人生を締めくくることができましたこと、望外の幸せでございます。

今後は、生活基盤のある東京でとなりますが、自然豊かなふるさと美馬市のこと、お世話になりました皆様方のことを終生忘れず、感謝しつつ過ごしてまいりたいと考えております。

結びとなりますが、美馬市には優れた人材と宝となる地域資源が数多くあると思ってお

りますので、コロナ禍が収束すれば、必ずや大いなる発展につながるということを確信をいたしております。藤田市長のリーダーシップの下、行政と議会、市民の皆様が連携し、本市の目指す将来像、「美しく駆ける 活躍都市 美馬」の実現を心よりご期待を申し上げます。それとともに、美馬市議会並びに美馬市のますますのご発展、議員各位を始め、全ての皆様の今後のご活躍とご健勝を祈念申し上げます、お礼の言葉に代えさせていただきます。誠にありがとうございました。

◎議長（郷司千亜紀議員）

ありがとうございました。

ただいまご挨拶いただきました長江副市長におかれましては、令和2年7月から2年間、美馬市発展のためにご尽力をいただきました。衷心よりお礼を申し上げる次第でございます。本当に大変お疲れさまでございました。これまでのご活躍とご尽力に対し、敬意を表する次第であります。今後は、健康に留意されまして、美馬市と美馬市議会の発展のために変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。大変ありがとうございました。

それでは、本日はこれをもって散会といたします。

散会 午前10時50分

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和4年6月14日

美馬市議会議長

美馬市議会副議長

会議録署名議員 4番

会議録署名議員 5番

会議録署名議員 6番